

学習指導案

科目名		情報の科学		担当者	林千鶴	実施日	令和 5 年 4 月 10 日			
単元名		コンピュータによる情報の処理と表現			1	時間目	20 時間数			
主題		わたしたちの生活と情報処理								
本時間の学習目標		・情報機器の発展により、日常生活がどのように変化したのか考える ・アナログとデジタルの違いを知る								
段階	分	内容・ねらい	学習活動	指導上の留意点	評価					
					具体の評価規準との対応				評価方法	
					関	思	技	知		
導入	10	本時の目標につなげる	情報化が進むことにより社会はどのように変化するか考える(3分) ・動画資料の提示 『デジタルとリアルが交差する、少し未来の働き方のはなし』 情報化が進むことにより、近い将来どのように働き方が変化していく可能性があるか動画資料と授業を通して考えるきっかけを与える	これからどのようなことを勉強するか、現在発展している情報技術から考えてもらう						
	15	1つ目の学習目標について	普段どのような機会・場面で情報機器を活用しているか考える(5分) 教科書p14「情報技術の恩恵」を見ながら、情報機器の活用機会と手段について知る ワークシートへの記入(5分)、意見交流(5分)	情報機器の ・どんな機能を使っているか ・どんなアプリを使っているかなど、教科書の内容と組み合わせさせて考えさせる	①				行動観察	
展開	15	2つ目の学習目標について	教科書p15「アナログとデジタル」を見ながら、それぞれの違いについて知る それぞれの定義を提示 どんな製品が該当すると思うか考えさせ、グループ交流(3分) 身近なアナログ製品、デジタル製品の例を提示 アナログ製品(デジタル化していないもの)の良いところ デジタル化したことで便利になったもの →自分の考えをまとめる(ワークシートに記入(10分)) アナログ・デジタルのメリット・デメリットの提示	教科書と組み合わせで分かりやすい説明を行うようにする デジタル製品だけ、アナログ製品だけではなぜ良くないのか考えるきっかけを与えるようにする				①	行動観察 ワークシート	
	10	本時のまとめ	1時間の振り返り ワークシートに記入(10分) ・活用機会 ・デジタルとアナログの違い 本時の感想など	具体的にまとめ、授業内容を理解させる 生徒自身の言葉で授業をまとめてもらう				①	ワークシート	